

【テーマ】「STEM教育は大学教育をどう変えるか？」

【主催】教育システム分科会

活動報告

日時：2019年7月10日（水）14：00～17：00
場所：国立大学法人 埼玉大学 全学講義棟2号館 1階 103号室
出席者：26名

1. 研究内容

2020年度から始まる新しい学習指導要領では、子供たちの「生きる力」を育むためにプログラミング教育や外国語教育などが新たに加わります。
本研究会では、今後そういった教育を受けてきた生徒、学生に対し、大学ではどのような教育ができるか研究しました。

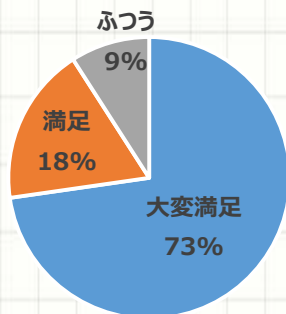
2. スケジュール

14:10～14:20	全体会 ・事務連絡
14:20～16:10	ご講演 「STEM教育に大学はどう取り組むか」 埼玉大学 教育学部 准教授 野村 泰朗 氏 ハンズオン 質疑応答
16:10～16:30	名刺交換・休憩
16:30～16:55	ネット越しに学童保育の様子を見学 （「放課後デザイン」というコンセプトのもと、主体性を育てることを目標とした新しい学童保育づくりにチャレンジしています。）
16:55～17:00	まとめ
17:00	終了

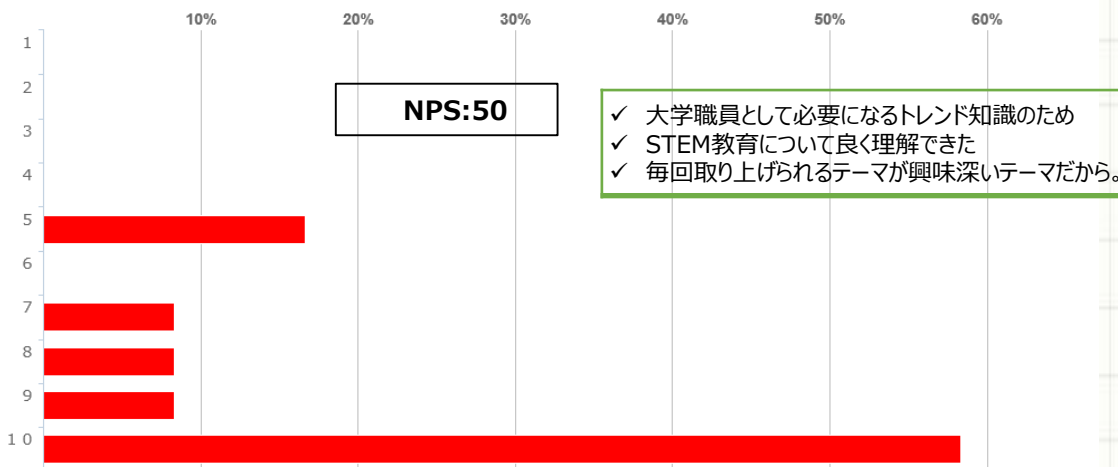


3. アンケート結果について

■本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすしめない) ~10(おすすしたい)



■本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ 他STEM教育についてニュアンス的なところを感覚的に学ぶことができました。
- ✓ 何が出来ないか問題に気付けないという部分は、社会人に対してもしえる事です。気付かせる為にはどうするかという事が課題になる事も多くあります。(新人教育等)
- ✓ STEM教育の基礎を学ぶことができました。
- ✓ STEM教育は色々な場面で使えること。アプローチであること。
- ✓ 文系科目にどうSTEM的エッセンスをとり入れるか。
- ✓ STEM教育の実情を学ぶことができました。

■次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

・アクティブラーニングとグループ学習

4. 参加校 [8校11名] ・参加企業[2社15名] ・参加総数[26名]

亜細亜大学[1]
関東学院大学[3]
久留米大学[1]
共立女子大学[2]

埼玉大学[1]
清泉女子大学[1]
東海大学[1]
明治大学[1]

富士電機ITソリューションズ(株)[2]
富士通(株)[13]

5. 所感

今回ご講演いただいた埼玉大学 教育学部 野村准教授は、制御工学・ロボット工学がご専門で、先日オーストラリアで開催された「RoboCUP」の現地様子や海外のSTEM教育の最新状況について、動画を通じてご紹介いただきました。また、北浦和駅前の「埼玉大学STEM教育研究センター」からは、インターネットを通じて、学童保育の様子(小学生13名)を拝見しました。野村先生のお話しの中で、「STEM、プログラミング学習とは、市民として機械、コンピューターを知ること」「STEM教育はもう始まっている、今後、STEM教育を受けた学生が大学に入ってくる、大学に興味を持ってくれるかが課題」といった言葉が印象的でした。

(富士通 文教ビジネス推進統括部 大学ビジネス推進部 佐藤)